

5

No.529
MAY.2015

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協

CONTENTS

- 01 茨城キリスト教大学、常磐大学において寄付講座をスタート
- 03 委員会報告
経営教育／青年経営研究会
- 04 支部だより
日立／常陸・那珂／水戸／土浦・石岡・つくば／鹿行
- 07 事務局員の担当業務
- 08 新入会員の紹介
- 09 『会員増強運動2015』の状況
会員数900社の大台に到達
- 11 協会人事＜委員会委員＞
- 13 会員紹介87＜株式会社SHOOWA＞
- 14 平成28年3月新規中学校、高等学校卒業者の就職に関する「申し合わせ」
求人票受付は6月20日以降、選考は9月16日から
- 15 役員力②＜葛田一雄＞
「整流と清流」
- 17 NPO情報Vol.175＜横田能洋＞
「就労困難な若者を地域の働き手に変える『グッドジョブセンター』」
- 18 「夏の生活スタイル革命」に関する要請書
- 19 セミナー・事業等のご案内

地域企業の将来を担う人材の育成を担う



本会は去る4月15日(水)に茨城キリスト教大学において、4月23日(木)に常磐大学において、地域企業の将来を担う人材の育成を目的とした「寄付講座」の開講式を執り行った。本講座は、2007年に創立60周年記念事業の一つとして、経営者協会の役員や会員企業の経営者・管理者が講義を行い、学生が地域経済の実態と各社が実践している経営活動等について理解を深めるとともに、企業に入り活躍するための心構えを育むことを目的として開設したものである。常磐大学での開講は9年目を迎え、茨城キリスト教大学では4年目を迎えた。

開講にあたり、鬼澤会長が聴講学生に向けて「この講座は、茨城県内の有力企業の経営者や管理者が、若い学生の皆様に対して、実体験に基づいた有益な話を提供していこうという講座です。会社の質を上げるには、社員の質を上げる必要がある。そのような視点から、日頃、常陽銀行において様々なことを行員に話している。その話のいくつかをお話したい。1つ目は「前向き、柔軟な発想」

である。巨人軍終身名誉監督の長嶋茂雄氏は非常に柔軟な発想の持ち主であり、「氷が解けたら何になる？」という問いに「春になる」と答えた。またあるとき色紙に四文字熟語を頼まれ「長嶋茂雄」と書いた。とても前向きな発想であ

り、見習っていききたいものである。2つ目は「働くことの意義」である。ある意味で、会社員になるということは、自分の時間を売るとのことである。同じ時間働かならば、どんな仕事も自分なりの創意工夫を考えて取り組んだ方が、喜びを感じられるようになる。3つ目は「仕事のできる人」である。その条件には3つある。それは、「言行一致」「自分の言葉で話す」「明るさとフットワーク」である。「言行一致」については、人間の能力は3階建てのようなものである。1階は理解する力であり、偏差値で測ることができる。2階は相手に伝達する力、3階は実行する力である。2階と3階の能力は偏差値で測れないが、仕事ではこちらのほうが重要である。「自分の言葉で話す」については、実体験の話が一番説得力がある。「明るさとフットワーク」については、暗いと周囲の人が話しにくい。会社では明るいフリでもいいので、明るくふるまっただほうがよい。4つ目は「記録と記憶」である。物体に記録する場合、記録の量は物体の容量に比例し、容量を超えればパンクす

る。しかし、人間の脳はパンクしない。なぜなら、人間の脳は、同じ情報を整理して記憶するからである。したがって、うまく頭に入らないという人は、実はまだ入れ足りないのである。脳を軽くするためには、むしろどんどん情報を入れていくと、情報が圧縮され整理されて頭に入る。5つ目は「継続こそ〇〇なり」である。通常、〇に入る言葉は「ちから」であるが、「つかれ」になることも認識しておくべきである。たとえば、睡眠時間を毎日1時間削って勉強しようとしても、無理があるので続かない。しかし、1日10分だけ勉強するというやり方だと続けられる。これが本当の「継続は力なり」である。つまり、毎日の小さな積み重ねこそ大きな成果になる。6つ目は「コペル君の発見」である。人間はつい自分中心に考えてしまう。しかしこれではいけない。お客様中心に考えなければならない。そのためには、自分がお客様だったら何に満足するだろう、と考える習慣をつける必要がある。7つ目は「ビジネス成功の要因」である。ビジネスで成功している人は経験を大切にしている。どこに店を出店したほうがいいのかという場合も現場を歩く。さらには人脈も大切にしている。8つ目は「指導力」であり、天才と秀才で異なる。本当の指導力があるのは、秀才のほうである。なぜなら、天才と違って秀才はスランプに陥った際、必死になって原因を探る。その努力の積み重ねが、実際に指導者になった時の部下への指導に役立つのである。9つ目は「巨人V9か

らの教訓]である。巨人はなぜV9を達成できたかという、主役、脇役、管理、ファンの4つが揃っていたからである。企業も同様である。最後に「朝会での挨拶」で話すことを一部紹介する。「十百千万の心身の

健康法]として、毎日「一」回は頭を使い、「十」回笑い、「百」回深呼吸し、「千」文字書き、「万」一万歩歩くとよい。皆さんには、これらのことを参考にして、これからの人生に役立てていただきたい」と挨拶をされ

た。

両大学において講師をお務め頂く方々は以下の通り。

【茨城キリスト教大学・講師リスト】

(敬称略)

回	月日	会社名	氏名	役職	業種
開講式 挨拶	4月15日	茨城県経営者協会 (株)常陽銀行	鬼澤 邦夫	会 長 (代表取締役会長)	金 融 業
第2回①	4月22日	(株)カスミ	生井 義雄	取 締 役 人 事 総 務 本 部 マ ネ ジ ャ ー	流 通 業
第3回	4月29日	グループワーク①			
第4回②	5月13日	(株)増山会計	増山 英和	代 表 取 締 役	会 計 業
第5回	5月20日	グループワーク②			
第6回③	5月27日	(株)KJパートナーズ	小林 廣久	代 表 取 締 役	保 険 業
第7回	6月3日	グループワーク③			
第8回④	6月10日	(株)中村自工	中村 弘樹	代 表 取 締 役	製 造 業
第9回	6月17日	グループワーク④			
第10回⑤	6月24日	東武トップツアーズ(株)	榎 美人	マ ネ ー ジ ャ ー	旅 行 業
第11回	7月1日	グループワーク⑤			
第12回⑥	7月8日	日立電鉄交通サービス(株)	土屋 静治	取 締 役 社 長	運 輸 交 通 業
第13回	7月15日	グループワーク⑥			
第14回	7月22日	最終とりまとめ			

【常磐大学・講師リスト】

(敬称略)

回数	日程	業 種	企業名	役職名	氏名
1講	4月16日	オリエンテーション	文堂教授担当	—	—
2講	4月23日	開 講 式	(一社)茨城県経営者協会	会 長	鬼澤 邦夫
3講	4月30日	卸 ・ 小 売 業	水戸ヤクルト販売(株)	代表取締役	内藤 学
4講	5月7日	研修講師(元ラジオパーソナリティ)	(株)ヒューマン・ブレンディ	代表取締役	田寺 尚子
5講	5月14日	社会保険労務士	社会保険労務士法人 葵経営	代 表 社 員	皆川 雅彦
6講	5月21日	—	レポート執筆とこれまでの振り返り①	—	—
7講	5月28日	マ ス メ デ ィ ア	(株)茨城放送	代表取締役	北島 重司
8講	6月11日	社 会 福 祉 事 業	社会福祉法人白銀会	理 事 長	長谷川 浅美
9講	6月18日	製 造 業	キリンビール(株)取手工場	工 場 長	小早川 忠
10講	6月25日	ウ ェ デ ィ ン グ 業	ラ・フォレスト・ディ・マニフィカ	支 配 人	岡部 成昭
11講	7月2日	—	レポート執筆とこれまでの振り返り②	—	—
12講	7月9日	製 造 業	(株)日立製作所電力システム社 日立事業所	副事業所長	館岡 司
13講	7月16日	製 造 業	新日鐵住金(株)鹿島製鐵所	副 所 長	竹中 弘明
14講	7月23日	経済団体(常磐大学OB)	(一社)茨城県経営者協会	労働企画主任	後藤 泰男
15講	7月30日	最終レポート提出	—	—	—

経営教育委員会

平成27年度 第1回委員会を開催



経営教育委員会（委員長 植木誠氏（株）筑波銀行 代表取締役副頭取）は4月21日（火）、

経営者協会会議室にて本年度第1回目となる委員会を開催。事務局含め20名の出席のもと、

26年度下期事業の振り返りと本年度の研修事業の具体化に向けて協議された。

例年好評いただいている国内視察会（7/9（木）～11（土）の開催）の本年度は、先般開通した北陸新幹線を利用し、旅行専門誌の「施設」「料理」「サービス」「企画」という4つの項目で、総合評価34年連続日本一を続ける“加賀屋”のおもてなしを体験するとともに、石川県観光戦略推進部の取組みを伺うヒヤリング、また業界で優れた製品の開発・高いシェアを誇る石川県の優良企業の視察をプログラムに開催することが確認された。

青年経営研究会

青年経営研究会が東京例会を開催

青年経営研究会（会長 磯崎寛也氏（株）アイ・ティ・エイチ 代表取締役）は、4月14日（火）、外交委員会（委員長 栗山武志氏 栗山電気（株）代表取締役）主催により、昨年10月の例会で世界遺産登録を目指す軍艦島を訪問した九州視察に引き続き、“世界遺産”を切り口にした東京例会を開催。26名のメンバーが参加した。

外交委員会副委員長の山田雄之氏（NTT東日本茨城支店副支店長）のご厚意により、会場はNTT東日本・品川セミナー室を利用した開催となった。

当日は、NPO法人世界遺産アカデミー主任研究員の目黒正武氏から「世界遺産の選べれ方とその波及効果」と題してご講演いただくとともに、NTT東日本が提供する企業向けクラウドサービスの概要や、クラウドを体験できるショールームの見学も併設された。

会議後には、世界無形文化遺産に登録された和食の代表である天ぷらの名店、ミシュラン2ツ星獲得の「天ぷら近藤」にて交流懇親会も行われるなど、メンバー間の交流を深めた。



日立地区支部

日立地区支部総会を開催

日立地区支部(支部長 土屋静治氏 日立電鉄交通サービス(株)取締役社長)は、3月24日(火)、ホテル天地閣にて支部総会を開催した。

土屋支部長、家次晃副支部長((株)日立製作所電力システム社日立事業所総務部長)、また本部より鬼澤邦夫会長、磯崎寛也青年経営研究会会長((株)アイ・ティ・エイチ代表取締役)ご出席のもと、併設の講演会聴講者を含め70名が出席した。

水出浩司幹事長((株)日立製作所電力システム社日立事業所庶務課長)の進行によりすすめられ、土屋支部長より「日頃より支部活動へのご協力をいただき感

謝したい。これまで以上に『会員間の交流と連携』を強め、地域経済の活性化に寄与するとともに、研修事業や採用支援・政策提言活動を通じ、会員の皆様のお役に立つ活動を進めて参るので、今後ともご支援ご協力をお願いしたい」と挨拶。続いて、澤畑専務理事より協会活動方針についての報告がなされた。

併設の講演会では「change, or die! 経営革新と成長を続ける強い組織づくり」と題して、カルビー株式会社 代表取締役会長兼CEOの松本晃氏をお招きし、ご講演をいただいた。松本氏の経営理念やそれを社内外

へ浸透させてきたこれまでの手法についてお話をいただくなど、出席者一同、大変興味深く聴き入っていた。

終了後には松本講師も交え、時間の許す限り、出席者間の交流促進をねらいとした交流会も併設されるなど、盛会に開催された。



常陸・那珂地区支部

日立オートモティブシステムズ(株) 佐和事業所 企業見学会を実施



常陸・那珂地区支部(支部長 柳生修氏 コロナ電気(株)代表取締役社長)主催による企業見学会が4月17日(金)に開催され、日立オートモティブシステムズ(株)佐和事業所を見学した。当日は当初定員30名を大きく上回る49名(29社)が参加、自動車部品の先進技術に対する関心の高さが窺えた。

見学会では、事業概要と無人ハンドル操作・運転による走行から車庫入れ駐車までを可能とする先進技術開発状況について、映像を交えながら紹介された後、3班に分かれて世界シェア40%を誇るエアフローセンサーはじめ、自動車エンジン部品製造・生産過程を見学。生産ライン上の部品は透明なプラスチックで覆われており、かつ一部品毎に採番し完成車に搭載された後の部品についても厳格に管理されている等、精密部品に対する取り扱いの管理徹底振りについても説明された。参加者からは「工場内が想像以上にきれい、整理整頓が行き届いている」「生産ラ

イン上に人が少ない、見ただけで生産効率の高さが分かる」等の声が聞かれた。

工場見学後は、東日本大震災で受けた被害状況から復旧に至るまでの経緯を映像化したDVDを視聴。取引先に対し部品の供給責任を果たすべく「We are one」を合言葉に社内一体となり取り組んだ事象を、決して風化させることなく、今に活かしている姿勢を実感した。

その他、同社のシンボルスポートである女子バレーチーム「日立リヴァーレ」を含めた地域社会貢献活動への取り組み状況についても紹介された。

水戸地区支部（支部長 西村寛氏（株）水戸京成百貨店代表取締役社長）の水戸地区人事労務担当者会議（代表幹事 川上康郎氏 茨城交通（株）常務執行役員総務部長）は、平成27年3月30日（月）、経営者協会役員室において、役員会を開催した。

開会にあたり、川上代表幹事より「本日は、今年度の活動の反省と次年度の具体的な活動計画を協議する非常に重要な会議となりますので、皆様方の忌憚のないご意見を宜しく願います」との挨拶があった。

報告・協議事項では、まず初

めに平成26年度の事業活動報告が事務局より行われ、平成26年度に実施した各事業の参加状況、セミナー参加者からのアンケートの声などが報告された。

続いて、平成27年度の活動計画案について、5月開催予定の総会特別講演や年2回行われる公開セミナーのテーマ・講師、合同臨地研修会の視察先などを協議した。セミナーのテーマ・講師選定については、企業が抱え

る課題について問題提起され、実務者目線からのご意見を基に活発な協議が行われた。

最後に、次年度役員体制について、原案通り了承され、平成27年度の役員体制が決定した。



土浦・石岡・つくば地区支部

「女性の活躍推進」講演会を開催～山口やちゑ副知事が講演



土浦・石岡・つくば地区支部（支部長 本井正氏 日立建機（株）執行役開発・生産統括本部副本部長）は4月22日（水）、ホテルマロウドつくばにおいて、「女性の活躍推進」講演会を開催した。

はじめに本井支部長が『アベノミクス』の成長戦略では、人材活躍強化の分野において、『女性が輝く日本』を政策として打ち

出し、具体的に『2020年までに指導的地位に占める女性の割合を30%にする』といった政府目標を掲げております。このような流れの中で、企業が更なる『女性の活躍』を推進するためには、職場環境、労働環境を見直すこと、保育施設や介護支援など、企業と地域社会とが一体となり取り組むべき課題も残されております。そこで本日は、茨城県副知事の山口やちゑ様をお招きし、県としての女性の活躍推進の考え方についてお話を頂きます。そして、企業における先進事例として、日立製作所人材統括本部ダイバーシティ推進センタの武内和子様と塚本淑子

様に同社の取り組みをご紹介します。本日までご参加頂きましたみなさまの各社、各部署に持ち帰り、女性の更なる活躍推進に繋がることを期待します」と挨拶をされた。

山口やちゑ副知事のご講演の中で「まず本県の将来推計人口をみてみると、2015年現在は292万人ですが、25年後の2040年は50万人の人口が減少し242万人になるという統計もあります。このような人口減少社会において、女性の活躍推進に取り組むことで、労働力人口の増加、優秀な人材の確保、新たな財・サービスの提供が可能となり、結果として経済成長に繋がると考えられています。これからの経済成長のカギを握る女性の活躍推進に向けて茨城県としては、例えば『ハ

『一モニーフライトいばらき』事業において、女性が国内・国外研修を通じて、国際的視野と指導力を持った地域の女性リーダーを育成を行ったり、『創業支援講座』、『キャリアアップ講座』、『メンターの設置』、『イクボス育成講座』等の各種講座を通じて、創業やキャリアアップ等にチャレンジしようとする意欲ある女性を支援したり、男性の育児参加等の促進を図るための管理職向けの講座を実施しています。県としても今後もさまざまな施策を展開して参りますので、企業の方々におかれましても積極的に女性の活躍推進に取り組んで頂きたいと思っております」と県の取り組みについて述べられた。

(株)日立製作所人財統括本部ダイバーシティ推進センタの武内和子氏と塚本淑子氏からは「日立グループにおける経営

戦略としてのダイバーシティ推進」と題し同社の取り組みについて発表頂いた。同社では「2012年に『クリエイティブな仕事をしていくために必要な要素はいくつかありますが、中でもダイバーシティは欠かせない要素です。多様性に富んだ組織の中で、才能をぶつけあい、議論を戦わせなければ、個々の国や地域の抱えている課題を正しく真正面から理解し、その解決策を導き出すことはできません』というトピックメッセージが出されました。以降、ダイバーシティはイノベーションの源泉であり、当社の成長エンジンと位置づけて

います。具体的には、日立グループ女性活用度調査を実施し、各社の状況を数値化し『見える化』を推進、また女性リーダーミーティングを開催し、女性活用に関するグループ討議・役員への提言発表などを行っております」と同社における女性活用(ダイバーシティマネジメント)の位置づけと具体的な取り組みについて発表頂いた。



鹿行地区支部・労働問題研究会



鹿行地区支部(支部長 竹中弘明氏 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所副所長)の労働問題研究会(代表世話人 石田晃康氏 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所労政人事室長)は、3月23日(月)、新

日鐵住金鹿島人材育成センターにおいて、公開例会を開催。近隣支部からの参加も含め52名が参加した。

今回は「採用していい人・いけない人」の見極め方～良い人材を採用する面接対策～」をテーマに、これまで1万人以上の面接と人事に携わってきた経験から、現在コンサルティング、執筆&講演活動等で活躍されている(有)キャリアドメイン代表取締役の谷所健一郎氏をお招きし、

採用面接のノウハウを学ぶ

採用面接のノウハウや自社に持ち帰ってすぐに活用できるチェックリスト等も提供いただくなど、講演をいただいた。同セミナーは、昨年8月に水戸で開催され、好評いただいたため、今回の開催となった。

当研修は、講義だけでなく参加者同士でグループに分かれ、求職者と採用面接官を演じながら気づきを得る“模擬面接”も取り入れられるため、参加者からの評価も高く“今後もこうした研修を定期的で開催して欲しい”、といった意見も多数寄せられた。

■土浦・石岡・つくば地区支部長

本井 正氏



日立建機（株）
執行役開発・生産統括本部
副本部長

■経営教育委員会副委員長
兼中小企業部会長

煙山 弘氏



日立精錬（株）
代表取締役社長

平成27年度事務局員の担当業務

【委員会】

[労働企画] 笹沼課長、後藤主任、平澤
[経営教育] 加藤局長、澤畑(英)課長、後藤主任
[産業政策] 加藤局長、笹沼課長、薄井主任
[環境] 澤畑(英)課長、笹沼課長、薄井主任
[地域関係] 加藤局長、須藤部長、澤畑(英)課長
[総務] 加藤局長、須藤部長、澤畑(英)課長
[科学技術] 須藤部長、笹沼課長、薄井主任、平澤

【研究会】

[青年経営] 加藤局長、須藤部長、澤畑(英)課長、薄井主任
[環境] 澤畑(英)課長、笹沼課長、薄井主任

【支部】

[東北地区] 須藤部長、後藤主任、平澤
[日立地区] 澤畑(英)課長、後藤主任
[常陸・那珂地区] 須藤部長、澤畑(英)課長
[水戸地区] 加藤局長、笹沼課長、薄井主任
[土浦・石岡・つくば地区] 須藤部長、後藤主任、平澤
[取手・龍ヶ崎地区] 笹沼課長、薄井主任
[県西部地区] 加藤局長、須藤部長、笹沼課長
[古河・坂東地区] 笹沼課長、薄井主任、平澤
[鹿行地区] 澤畑(英)課長、平澤

顧問
専務理事
事務局長
総務・企画担当部長
人事労務相談室長
経営教育担当課長
産業政策担当課長
労働企画担当主任
環境情報担当主任
情報調査担当
経理担当
経理担当

清澤加須安澤笹後薄平石青
水畑藤田畑沼藤井澤川木
賢慎祐文仁英泰
一志一博四史之男優周子美

■茨城産業会議

事務局長
事務局
"

加須笹
藤沼
祐文泰
一博之

※アンダーラインは主担当

新入会員紹介

株式会社こうじや

■代表取締役 鈴木 章弘



Date 所在地／ひたちなか市山崎121
山崎第2工業団地内
T E L 029-264-2611
F A X 029-264-2600
業 種／園芸資材卸売業
従業員／19名

Appeal point

こうじやは、園芸資材全般の総合物流商社です。現会長の鈴木喜一が有限会社を昭和51年にスタートした当時は、鹿沼土・赤玉土や植木鉢などの卸売業を営んできましたが、現在はホームセンター・園芸専門店・ドラッグストアの各社様に園芸資材全般（培養土・家庭園芸薬品・輸入陶器鉢・肥料等）を卸すベンダー業として営業しています。『思いやり』と『ありがとう』を植物に～これが私たちの理念です。私たちは『こうじやと取引してよかった』を目指していきます。

産機リース株式会社

■代表取締役社長 牧 幸代



Date 所在地／茨城県ひたちなか市
高場302番地
T E L 029-285-1133
F A X 029-285-0585
業 種／建設・荷役機械の
レンタル・リース
従業員／17名

Appeal point

弊社は昭和41年に創業し、茨城県央・県北地区を中心に、建設・土木関係業者様をはじめとして、港湾、倉庫業等の皆様に、建設機械、荷役機械等をレンタル・リースしてきました。東日本大震災後は、復旧作業にも弊社の機械を多数御利用いただき、地域に貢献できたと自負しております。今後はこれまで培ってきたお客様との信頼関係を大切に、地域の発展とともに成長していきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

有限会社テクサ

■代表取締役 梶山 義信



Date 所在地／笠間市住吉935-6
T E L 0296-70-5172
F A X 0296-70-5173
業 種／看板業
従業員／6名
<http://www.e-texa.com/>

Appeal point

設立11年目(創業22年)を迎え、看板屋から広告屋になる為、ステッカー・マグカップ・Tシャツなどの商品も自社で製造出来る様に設備を整えました。今後もレーザー・ルーター加工機なども導入予定です。そして、地域貢献の為に発行しているフリーペーパー「子育て支援雑誌いばらび」も、今年で10年目になりました。これからも、皆様のお役に立てる広告屋になれるよう頑張ります。

トソー株式会社 つくば事業場

■取締役製造本部長 久保田 英司



Date 所在地／つくばみらい市小絹551
T E L 0297-52-2111
F A X 0297-52-4518
業 種／インテリア製品製造業
従業員／126名

Appeal point

弊社は1949年の設立以来半世紀にわたり、カーテンレールメーカーとして多くのお客様からいただいた信頼を元に事業の拡大をはかり、現在はブラインド・間仕切りを含む総合「ウィンドウトリートメント企業」としてつねに進化に向けた挑戦を続けています。今後もグローバルな観点から内外の成長市場に向けた積極的なアプローチを展開していく所存です。

株式会社ユニキャスト

■代表取締役 三ツ堀 裕太



Date 所在地／茨城県日立市大みか町
3-1-12
T E L 0294-87-6491
F A X 0294-87-6492
業 種／IT関連業
従業員／15名

Appeal point

弊社は2005年の創業以来、WEBシステムの開発やサーバ・ネットワークの構築、スマートフォン・タブレットアプリケーションの開発などを行ってまいりました。また、弊社は学生発ITベンチャー企業という特異性を持っており、ITに関する技術力はもちろんのこと、母校である茨城大学および茨城キリスト教大学の学生たちとのネットワークが当社の強みのひとつとなっております。地の利を活かした活動を大切にしており、地域のみならず必要とされる企業となることを目指しています。

『2015 会員増強運動』の状況 ～ 会員数 900 社の大台に到達 ～

1. 4月の状況

4月は、入会7社、退会5社、前月比プラス2社の実績で会員数900社の大台に到達することが出来ました。

役員・幹事の皆様、会員の皆様のご協力ご支援に感謝いたします。

2. 『2015会員増強運動』について

会員の状況（4月30日現在）

項目	支部										
	県北	日立	常陸・那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・龍ヶ崎	県西	古河・坂東	鹿行	合計	
26年度末会員数	39	94	80	259	133	66	71	53	103	898	
入会数		1	2	3	1					7	
退会数		1	1		1		2			5	
会員数	39	94	81	262	133	66	69	53	103	900	
（ ）は支部間移動の数：今年度入退会数の内訳合計には含めていない。										前年度比	2

平成27年度目標	950
----------	-----

目標比	-50
-----	-----

平成27年度は、協会の事業運営の指針であります「第7次中期運営要綱」の2年目として、「第7次中期運営要綱」に掲げております『会員数目標1,000社（29年7月：創立70周年）』に向けて、「27年度末会員数950社」を年度目標として会員増強運動をスタートしました。

幸先良く900社の大台に到達した勢いをそのままに、「数は力なり」で、これまで以上に行政等に対する政策提言力の強化を図るために、また会員の皆様の相互啓発やビジネス交流の活性化を加速させるためにも、会員企業の皆様のお力添えを賜り、早期に目標達成に向けて取組んで参りたいと、考えております。

『2015会員増強運動』では、新入会員をご紹介いただきご入会いただけた際には、ご紹介いただいた会員企業様向けに、感謝の意を込めて「交流懇親会」へお申込の際は『無料招待』とさせていただきます。4月は3社の会員企業様が交流会無料招待の対象になりました。

会員の皆様におかれましては、1社からで結構ですので、是非お誘いいただき、右ページの「紹介票」にて事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

なお、「2015会員増強運動」の進捗状況等につきましては、この「茨城経協」を通じて、随時会員の皆様へお知らせしてまいります。引続きご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

【2015 会員増強運動】 入会见込先 紹介票

茨城県経営者協会 行き

FAX : 029-224-1109

御社名	
役職氏名	
TEL	

“会員増強運動 2015” の入会见込先として、下記のとおりご紹介致します。

【入会见込先の情報】

No.	会社名	電話番号	先方担当者（役職氏名）	連絡方法（○印）
1			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
2			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
3			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
4			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
5			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由

【備考】

--

※恐縮ですが、コピー、ご記入の上、FAX くださいますようお願いいたします。

委員会委員の方々

当協会では、各委員会委員の任期満了に伴いまして、下記の方々に各役職を委嘱をいたしました。
(任期は2年、敬称略)

総務委員会

委員長	坂本 秀雄	(株)常陽銀行専務取締役
副委員長	今泉 良	(株)日立製作所都市開発システム社 水戸事業所総務部長
副委員長	小松崎 寛	JX日鉱日石金属(株)日立事業所 副所長兼総務部長
委員	大高 利夫	(株)中村自工深川製作 取締役工場長
"	増山 英和	(株)増山会計代表取締役
"	幡谷 信勝	茨城県信用組合副理事長
"	春日 均	水戸信用金庫専務理事
"	高橋 信之	(株)筑波銀行専務取締役
"	岡野 和徳	キャノン(株)人事本部取手阿見 人事部長
"	葉 章二	関彰商事(株)執行役員総務部長
"	戸田 保明	結城信用金庫常務理事
"	随念 学	新日鐵住金(株)鹿島製鐵所 総務部人事総務室長

労働企画委員会

委員長	館岡 司	(株)日立製作所電力システム社 日立事業所副事業所長
副委員長	浅葉 俊幸	東日本電信電話(株)茨城支店企画 総務部門長
委員	和田 祐司	常北運輸(株)代表取締役
"	石山 伯夫	(株)マルト管理本部副本部長
"	小松崎 寛	JX日鉱日石金属(株)日立事業所 副所長兼総務部長
"	深山 俊之	日立アプライアンス(株)総務部長
"	林 泰造	日立金属(株)電線材料カンパニー 総務部長
"	生井 義雄	(株)カスミ取締役執行役員 人事総務本部マネジャー
"	江橋 庄市	関東鉄道(株)総務部長
"	吉原 祐二	(株)ケーズホールディングス 執行役員人事部長
"	小島 守	関彰商事(株)執行役員人事部長
"	西村 修	レンゴー(株)利根川事業所 専務執行役員利根川事業所長
"	増田 成秀	日鉄住金テックスエンジ(株) 鹿島支店統括管理本部総務部長
"	石田 晃康	新日鐵住金(株)鹿島製鐵所労働・ 購買部労政人事室室長
"	藤枝 正泰	(株)笠間自動車学校代表取締役

経営教育委員会

委員長	植木 誠	(株)筑波銀行代表取締役副頭取
副委員長兼 中小企業部会長	煙山 弘	日立精錬(株)代表取締役
副委員長	皆川 雅彦	社会保険労務士法人葵経営代表社員
委員	坂本 英治	茨城プレイング工業(株) 代表取締役
"	村田 文彦	(株)五浦観光ホテル専務取締役
"	茅根 弘匡	仲之蔵商事(株)代表取締役
"	西野 信弘	(株)西野精器製作所代表取締役
"	須田 勝	(有)ひたちなか健康スポーツコミュニ ティセンター代表取締役
"	根岸 孝雄	(株)大塚製作所取締役会長
"	広木 功	東日本電信電話(株)茨城支店 副支店長
"	武弓 美恒	(株)常陽産業研究所常務取締役
"	内田 聡	茨城大学学長特別補佐
"	高橋 弘明	(株)サンテ代表取締役
"	沼尻 満男	日本スポーツ振興協会理事長
"	川上 洋	川上商事(有)代表取締役
"	福井 武宏	キリンビール(株)取手工場 総務広報担当部長
"	倉持 一彦	倉持産業(株)代表取締役
"	峯 亮	(有)峯商店代表取締役
"	根本 裕一	県西法律事務所代表
"	塙 正明	ハナワ物流(株)代表取締役
"	塚田 長剛	(株)古河第一自動車学校代表取締役
"	相馬 正幸	日鉄住金マネジメント(株) 鹿島事業所教育事業部長

地域関係委員会

委員長	徳成 卓也	東日本電信電話(株)茨城支店長
副委員長	豊崎 繁	茨城いすゞ自動車(株) 代表取締役社長
特別委員	岩佐 淳一	茨城大学教育学部教授
委員	水出 浩司	(株)日立製作所日立事業所 総務部庶務課長
"	木村 慶一	(株)日立ライフ 取締役シルバーサービス本部長
"	遠藤 隆光	茨城交通(株)常務取締役
"	入江 宏	(株)JTB関東法人営業水戸支店 セールスマネージャー
"	荒澤 俊彦	(一財)常陽地域研究センター 主任研究員
"	綿引 誠	全国農業協同組合連合会茨城県本部 管理部次長
"	梅澤 秀樹	(株)デベロ取締役統括営業本部長

" 吉野景三郎 日本原子力発電(株)茨城総合事務所副
 所長
 " 増子 隆行 東日本旅客鉄道(株)水戸支社総務部
 企画室長
 " 正木 勉 水戸信用金庫常務理事
 " 内藤 学 水戸ヤクルト販売(株)代表取締役社長
 " 生熊 仁 (株)カスミコンプライアンス
 統括室部長(リスクマネジメント担当)
 " 山根 喜美 日立建機(株)
 人財・法務本部総務グループ部長代理
 " 清水 隆司 (株)めぐみ代表取締役
 " 舘野 博 日立化成(株)下館事業所
 管理センタ長
 " 小峰 克彦 積水ハウス(株)関東工場総務部長

産業政策委員会

委員長 深澤 正勝 日立セメント(株)
 取締役専務執行役員
 副委員長 家次 晃 (株)日立製作所電力システム社
 日立事業所総務部長
 副委員長 増山 弘 (一財)常陽地域研究センター理事長
 特別委員 塩幡 宏規 茨城大学名誉教授・特任教授工学博士
 委員 小川 幸則 小川産業(株)代表取締役
 " 河西 隆史 (株)日立ライフ総務部長
 " 西野 一 (株)ニシノ清塗工会長
 " 砂田 浩 (株)小松製作所茨城工場総務部長
 " 鈴木 祥順 (株)常陽産業研究所取締役社長
 " 長谷部一男 昭和建設(株)代表取締役会長
 " 佐久 芳夫 (株)筑波銀行専務取締役
 " 株木 政彦 日興運送(株)本社所長
 " 飯田 憲一 常陽建設(株)代表取締役
 " 関 太士 関彰商事(株)取締役副社長
 " 山中 一馬 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所総務部長
 " 五十嵐 聡 (株)ドコモ CS 茨城支店法人営業部長

環境委員会

委員長 坂井 雅紀 キヤノンエコロジーインダストリー(株)
 代表取締役社長
 副委員長 坂井 憲 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所
 安全環境防災部長
 特別委員 馬場 充 茨城大学工学部長
 委員 石崎 雅人 (株)茨城サービスエンジニアリング
 営業部長
 " 堀内 隆太 日立化成(株)山崎事業所
 環境安全管理センタ主任技師
 " 高橋 昭哲 日立金属(株)日高工場生産技術部
 環境管理グループマネージャー
 " 鈴木 良治 (株)日立製作所日立事業所
 環境管理センタ主任技師

" 幡谷 史朗 茨城トヨタ自動車(株)
 代表取締役社長
 " 小野瀬真一 (株)常陽銀行経営企画部次長
 " 西川 向一 東京ガス(株)茨城事業部副部長
 " 中野 博則 (株)ニコン水戸製作所
 環境管理課主幹
 " 高野真由美 (株)カスミ環境社会
 貢献部マネージャー
 " 遊馬 一幸 ぺんてる(株)茨城工場業務課長
 " 米澤 修 キヤノン(株)取手施設環境管理課長
 " 清水 隆司 (株)めぐみ代表取締役
 " 山内 一夫 関彰商事(株)
 経営企画部研究開発担当部長
 " 小野加寿男 積水ハウス(株)関東工場
 設備情報部長
 " 前川 二郎 レンゴー(株)利根川事業所
 総務部長代理
 " 村上 順 鹿島石油(株)鹿島製油所
 環境安全グループマネージャー

科学技術特別委員会

委員長 村山 貢一 (株)日立製作所電力システム社
 日立事業所長
 副委員長 奥垣 弘 キヤノン(株)理事取手事業所長
 副委員長 窪田 淳之 日鉄住金テックスエンジ(株)
 執行役員鹿島支店長
 委員 鈴木 茂夫 (株)東日本技術研究所
 代表取締役社長
 " 栗田 則夫 (株)ひたちなかテクノセンター
 代表取締役専務
 " 原田 佳尚 (株)水戸理化ガラス
 営業マーケティング部長
 " 中山 俊明 ツクバリカセイキ(株)
 代表取締役社長
 " 湯本 祐一 関彰商事(株)
 上席執行役員管理サービス本部長
 " 矢口喜一郎 (株)つくば研究支援センター
 代表取締役社長
 " 北島富佐雄 北進産業(株)代表取締役会長
 " 内藤 忠志 HARIO(株)
 専務取締役古河工場長
 幹事長 水出 浩司 (株)日立製作所日立事業所
 総務部庶務課長
 幹事 森林 潔 キヤノン(株)映像事務機取手
 TVE推進部長
 " 三上 雅祐 日鉄住金テックスエンジ(株)
 鹿嶋支店鹿島機械事業C整備

日本初の「留学生のドラフト会議」

株式会社 SHOOWA (商輪) 前島晴代



交流フォーラムの様子

地方中小企業のグローバル人材確保の課題

茨城県内において海外進出を考える中小企業の増加にともない、グローバル人材の確保が必要となってきました。県内には約2600人(平成26年5月1日現在)の外国人留学生在籍し、その多くが都内の企業へ就職しています。その背景として、県内での就職を望んでいる留学生がいるのにもかかわらず、県内の企業と出会うチ



インターンシップ・作業実習

ャンスがないことや就職情報が少ないという現状があります。一方で、県内の中小企業は外国人留学生を活用する希望があっても、採用経験がなく、また同じく留学生と知り合う機会がありません。

当社の取り組み

そこで企業と留学生が出会う場として、「茨城県中小企業と留学生の交流フォーラム」を企画し、これまで4回にわたって開催しました。きっかけづくりができ、もっとお互いを知るための次のステップとしてインターンシップを実施し、企業側と留学生側の相性を確認しマッチングへと繋がりました。結果、昨年のリクルートインターンシップ・プログラムを通して、計7名の留学生(中国人4名、韓国人1名、ベトナム人1名、スリランカ人1名)がこの春入社しました。その中の数社は、さっそく留学生を海外展示会や海外視察などに同行させる予定であり、留学生を大いに活用し社内のグローバル化を推し進めている様子が見受けられます。

今後の展開

これまでの事業を通

して感じたことは、中小企業は単なる留学生の語学力だけではなく、将来的には海外進出の際の海外営業や現地のマネージャーなどの大きな役割を期待しているという事でした。そこで当社は今年1月に「留学生ドラフト会議」を開催し、留学生によるプレゼンテーションを行い、気に入った留学生を企業がスカウトできる仕組みをつくりました。事前にリーダー育成塾で教育した意欲高い留学生なので、企業に安心して受け入れてもらうことができます。

今回は5/30(土)に茨城大学にて企業PRフェア、7/22(水)につくば研究支援センターにて留学生ドラフト会議を開催予定です。これから海外展開を考える多くの企業のご参加をお待ちしております。

<お問い合わせ先>

株式会社 SHOOWA (商輪)
TEL:029-231-7432
<http://www.shoowa.co.jp>



インターンシップ・海外展示会での通訳

平成28年度3月新規中学校、高等学校卒業者の 就職に関する「申し合わせ」

求人票受付は6月20日以降、選考は9月16日から

申し合わせ

平成28年3月新規中学校及び高等学校卒業者の就職問題について協議した結果、早期選考など行き過ぎた求人活動を戒め、更に正常な学校教育の維持と適正な職業紹介の円滑な推進を図るため、下記事項を厳守するよう関係者に周知徹底することを申し合わせる。

記

第1 求人受理及び推薦、選考時期等について

- 1 新規中学校卒業予定者
 - (1) 求人は、求人事業所を管轄する公共職業安定所（以下「安定所」という。）において、平成27年6月20日から受理を開始するものであること。
 - (2) 他安定所への求人連絡は、平成27年7月1日以降開始するものであること。
 - (3) 推薦、選考は、平成28年1月1日以降（推薦については文書到達主義）開始するものであること。
- 2 新規高等学校卒業予定者
 - (1) 安定所における求人申込みの受理及び確認（求人票への確認印の押印）のための求人票の受付は、求人事業所を管轄する安定所において、平成27年6月20日から開始するものであること。
 - (2) 安定所の確認した求人票の求人者への返戻は、平成27年7月1日以降行うものとする。したがって、高等学校における求人申込みの受理は、安定所の確認を受けた求人票により平成27年7月1日以降開始するものであること。
なお、この手続きによらない求人申込みがあった場合には、高等学校は生徒の推薦を行わず、確認印の押印のある求人票の提出を求め、その提出後、推薦を行うものとする。
 - (3) 推薦開始の時期は、平成27年9月5日以降（文書到達主義）とし、採用選考開始の時期は平成27年9月16日以降であること。なお、平成27年10月1日以降は、一人二社まで応募・推薦可能とすること。

第2 家庭訪問の取扱いについて

新規中学校及び高等学校卒業者を対象とする求人活動のための求人者（求人者の委託を受けた者を含む。）の家庭訪問は、これを全面禁止するものであること。

第3 学校訪問の取扱いについて

求人活動のための学校訪問については、原則として安定所において確認を受けた求人票により学校に求人申込みを行った日以降に行うこととするが、学校の事前の了解の下に、安定所に求人申込みを行った日以降についても行うことができるものとする。

第4 文書募集の取扱いについて

- 1 新規中学校卒業者を対象とする文書募集は、時期の如何を問わず行わないものであること。
 - 2 新規高等学校卒業者を対象とする文書募集開始は、平成27年7月1日以降とすること。
なお、文書募集を行う場合は、次の条件によることとする。
 - (1) 安定所へ求人申込みを行った求人であること。
 - (2) 求人管轄安定所名、求人受付番号を記載すること。
 - (3) 求人票記載内容と異なる内容のものでないこと。
 - (4) 応募の受付は、学校又は安定所を通じて行うこと。
- また、求人者が文書募集による応募者を受け付ける場合であっても、推薦開始期日、採用選考期日については、上記第1の2(3)の取扱いと同様であること。

第5 応募書類の取扱いについて

求人者が、採用に際して徴することができる応募書類は、職業安定機関が全国統一で使用している様式による書類のみとし、求人者は他の書類の提出を求めないものであること。

第6 採用選考について

- 1 採用選考にあたっては、出身地、家族の職業、経済的条件、家庭環境等を採否決定の

判断資料とすることなく、応募者本人の有する適性と能力を引き出し、これを効果的に発揮させるという観点に立ち、合理的な選考がなされるよう配慮するものであること。

- 2 男女雇用機会均等法及び指針の募集・採用の部分に関して、女子と男子の均等な機会が与えられるとともに、障害者に対しては、格別の考慮がされるよう配慮するものであること。

第7 選考の通知について

選考後は、速やかに採否を決定し、採用内定取消しが生じないよう十分配慮しつつ、選考を受けた生徒に対し通知を行うこと。

第8 就業開始日について

- 1 新規中学校卒業者の就業開始（名目の如何を問わず、実質的に雇用関係と見られるものや実習期間中の講習及び研修を含む。）時期は平成28年4月1日以降とすること。
- 2 新規高等学校卒業者の就業開始（名目の如何を問わず、実質的に雇用関係と見られるものや実習期間中の講習及び研修を含む。）時期については卒業後とするものであること。

平成27年4月27日

茨城県経営者協会会長
茨城県銀行協会理事長
茨城県商工会議所連合会会長
茨城県商工会連合会会長
茨城県中小企業団体中央会会長
茨城県教育委員会教育会長
茨城県高等学校長協会会長
茨城県高等学校教育研究会会長
茨城県産業教育振興会理事長
茨城県学校長会会長
茨城県教育研究会会長
茨城県総務部長
茨城県商工労働部長
茨城県労働局職業安定部長
茨城県公共職業安定所長会会長

役員力

～企業の夢を叶えるために～

2

整流と清流

k2 マネジメント代表取締役 葛田 一雄

茨城町は、水戸市に隣接した水と緑豊かな自然環境に恵まれた都市部と農村部が調和した町である。町の中央部を涸沼前川、涸沼川、寛政川の3本の川が流れ、東端に位置する涸沼に注ぐ。涸沼の眺めは絶景であり、晴れた日には鳥居越しに筑波山を望むことができる。涸沼の湖面に映る中秋の名月は「広浦の秋月」として第9代水戸藩主徳川斉昭による水戸八景の一つである。

1. 広浦を描いた版画家

涸沼を描いた版画家がいる。葛飾北斎および歌川広重と並び3Kと称されている川瀬巴水（かわせはすい）である。巴水は、たびたび水戸を訪れ、周辺の風景をスケッチした。「水戸涸沼広浦」は、終戦の翌年の名品である。1945年、大戦に負けた日本、打ち拉がれた日本人。その翌年、かくも美しい風景があった。

巴水は、画家を志し14歳の時、



川端玉章門下の青柳墨川に日本画を学ぶ。25歳で父親の家業を継ぐが画家になる夢を諦めきれず、27歳で日本画家鏑木清方の門を叩くものの洋画家への道を進められ、岡田三郎助に洋画を学ぶ。しかし、洋画の世界では頓挫し、27歳の時、一度は入門を断られた清方に再度入門を申し出て許される。1910年（明治43年）に「巴水」の画号を与えられた。

清方が得意とした美人画では行き詰まりを感じ、同門伊東深水の版画「近江八景」に影響を受けて版画家に転向する。当時、浮世絵版画は衰退の一途を辿っていたが、巴水は、終生、夜、雪などといった詩情的な風景版画を描いた。

2. 温故知新

温は、たずね求めることである。古いものをたずね求めて新しい事柄を知ること、温故知新（ふるきをたずねてあたらしきをしる）という。前に学んだことや昔の事柄をもう一度調べたり考えたりして、新たな道理や知識を求め自分のものとするのである。温故知新は、論語（ろんご）の為政（いせい）が出典である。

温故知新に対比し

た造語として温新知故（あらたしきをたずねてふるきをしる）もあってもよいのではないか。巴水は、日本画と洋画の門を叩き、浮世絵に辿り着く。やがて、新しい浮世絵版画である新版画を確立する。これは、巴水にとっての温新知故ではなかろうか。

巴水は、衰退した日本の浮世絵版画を復興すべく新しい浮世絵版画である新版画を確立した人物として知られている。近代風景版画の第一人者であり、日本的な美しい風景を叙情豊かに表現した画家である。アメリカの鑑定家ロバート・ミューラーの紹介によって欧米で広く知られ、最近ではアップル社の創業者ジョブズが巴水の愛好家として名高い。

3. 経験から学ぶ

ジョブズは、1976年、スティーブ・ウォズニアクと共にホームコンピュータ「Apple I」、「Apple II」を開発した。「未来を見据えて何が起きるかなんて予測は不可能だ。いつも過去を振り返ってみて、あれとこれは繋がっていた、としか言えない。だから自分自身が信じられるものを信じるしかない。それが勘であれ、運命であれ、人生であれ、因果であれ、なんであれ。このやり方で私は後悔したことはないし、私の人生

で非常に大きな役割を果たしてきた。」

経験から学ぶことの意義は、「何事かに直接ぶつかる場合、何らかの意味で自己を豊かにすること」にある。そこで、セルフ・エフィカシーが欠かせない。セルフ・エフィカシーとは、ある行動をうまく行なうことができる「自信」のことをいう。ある行動へのセルフ・エフィカシーを強く感じていると、その行動を行なう可能性が高くなるし、また、その行動をするために努力をする。失敗や困難があったとしてもくじけない推進力を身につけることができる。

4. 成功経験とモデリング

セルフ・エフィカシーを高める主なポイントは、「成功経験」と「モデリング」である。セルフ・エフィカシーを高めるには、自分と似ていると思われる「モデル」となる人を見つけ、その人にコツや勘などを含めた経験によるメリットを聞いてみるのもよい。そうすることで、「自分にもうまくできそうだな」という「自信」を感じやすくなる。モデリングとは、自分と似ていると思われる「モデル」となる人が、ある行動をうまく行なっているのを見たり聞いたりすることで、「自分にもうまくできそうだな」と思うことをいう。

成功経験とは、実際に自分が行なってみて、上手くできたという経験のことである。頑張れば達成できそうな目標を立て、その目標をクリアする。そして、その「成功経験」が「自信」を高め、その後少しずつ目標を上げていくことが可能になる。

役員が先人の経験から学ぶものはいくつもある。学びつつ実践しなければならないこ

との筆頭は、「明日も継続して事業が営めること」、つまりは事業継続の原則である。事業継続の原則とは、「市場および顧客ニーズに合致するように、日程や時間を基軸として経営資源の最適配分を計画し、利益を上げ、明日も継続して事業が営めるために統制すること」である。

5. 役員の使命

製造業の役員に例をとると、役員は、「計画した生産量、製造原価」および「売上総利益(粗利)」を確保するために経験から学び、なすべきことを実践しなければならない。そこで、役員には2つの使命がある。1つは、世界規模の広がりを持って常にビジネスモデルを変化させながら、なおかつ、1つの企業体としての統一感を保つ使命である。2つは、常識を破っていくことを自社のカルチャーとし、競争優位企業体にしていく使命である。

こうした使命を追求する人物こそ役員であり、それゆえに、役員は Thought Leader (ソートリーダー) でなければならない。ソート・リーダーとは難問へぶち当たらざるを得ない星回りにある者をいう。難問であるからには、なかなか解くことができない。解決しようとしてもがく、その行動それ自体が、ロールモデル(手本)となるような人物を「ソート・リーダー」という。それゆえに、事業に保守的に向き合うだけではなく、プロアクティブに取り組み、自社の企業価値を高めていく行動が求められる。

そして、役員には、使命を経営実践に移すためには企業に2つの状態をつくり出す責務がある。1つは、経営戦略に変革を継続する仕組みをビルトインすることである。2つは、

企業全体の仕組みとして顧客の想像を超越する状態にすることである。

6. 役員の役割

役員の役割を製造業に例にとると、欠かすことができない役割が2つある。1つは、損益に関わる当事者としての役割である。生産計画は、販売計画と製品在庫計画、つまり製販在計画として一貫して計画する。営業戦略と施策、販売計画と販売費及び一般管理費予算から、売上高と販売費及び一般管理費を計上する。生産計画と在庫計画から、製品製造原価と売上原価、売上総利益、そして営業利益を計上する。

2つは、生産編成を整流化する役割である。整流化は、清流化や正流化という場合もあるが、お客様の要求タクトを満足するように、部品構成の生産系列に従い整流化することである。流れるように澱みなく生産出来るように生産工程を編成することをいう。

計画の順序に従って正しく仕事をしないと工程混乱を引き起こす。計画順序にしたがって正しく作業することを、「正流化」という。しかし、流れを整えただけでは、「澱みなく」生産出来るとは限らない。澱みを発生させない、不良、故障、欠勤などによって工程を混乱させない「清流化」対策が必然である。例えば、不良品を排除する仕組み、異常に対する品質の工程を作り込み、設備の事前保守のみならず工程トラブルに即応する機動性などの対策が必要である。

巴水の作品には、流れが整えられていて、澱みがない。巴水は、整流と清流を求めた先達者の1人に思えてならない。

就労困難な若者を地域の働き手に 変える「グッジョブセンター」

茨城NPOセンター・commons常務取締役 横田 能洋

これまで紹介してきた栃木や千葉での中間的就労の事例を参考にして、茨城でも、今年度、新たな就労支援の仕組みを始めます。それが、グッジョブセンターです。このセンターは、社会から排除されがちなニートの若者が仕事と人生に再チャレンジするための道筋と仲介の仕組みを企業とNPOの連携でつくります。

○福祉ではなくビジネスだからできる課題解決

仕事、居場所、社会とのつながり、働く喜びをつくれるのは企業や地域の事業所です。地域の様々な仕事場と「誰かの役に立ちたい」人をつなぐ役割を担うのがグッジョブセンターです。ひきこもり、ニートの人も働きたいという人が殆どです。真面目ですが不安が先に立ってしまい一人では動けない人が多く、私たちはそうした人の電話相談を数多く受けてきました。あきらめかけた人の心を開き、背中を押しながら自分にあう仕事を探し、職場に慣れるまで伴走する役割をNPOが担います。そして実際に働く機会と場を地域の企業な

どに提供いただくというコラボレーションの橋渡しをグッジョブセンターが担います。

○センターの訓練事業のポイントは、他職種を選べて最初のハードルが低いこと

センターは次の業務を行います。

- ①仕事の開拓(介護施設、NPO、物販、商店街、農家、食堂、オフィス等)
- ②モデルとなる職場での訓練メニューの企画(現場の業務を棚卸し、やれる作業を作り出す)
- ③ジョブトレーナーの研修と訓練準備
- ④訓練作業プログラムの運営
訓練作業は単独ではなく若者3名と一人のジョブトレーナーの計4名チームで請け負いの仕事をします。そのためblankがあったり対人関係が苦手な若者の不安を軽減できます。ジョブトレーナーが若者に指示をしながら仕事をするので、企業は1日2名分の仕事と報酬を用意するだけで、訓練用の人を配置せずに見ます。若者は、人の役に立つ経験し様々な職種を体験す

る中から自分がしたい仕事を見つけることができます。最初は、交通費程度ですが、作業レベルに応じて、有償ボランティアに近い報酬、最賃程度での雇用と徐々に段階を上げ、一般就労につなげることを目指します。このような中間的就労のモデルや訓練につながる仕事メニューを多くの事業所の皆さんとつくるのがグッジョブセンターの役割になります。

○埋もれている人財を働き手に変えましょう

県内ニートは約2万6千人、準ひきこもりは約1万9千人いると推計されます。中間的就労の機会や訓練の場を増やすことができれば、雇用が創出され、税金や消費も増えます。何もしなければ、将来の生活保護費や医療費が膨らむだけでなく社会不安も高まります。若者とその家族も、地域の企業にもメリットがあるこの事業にぜひご期待下さい。

平成27年5月11日

一般社団法人茨城県経営者協会会長 殿

「夏の生活スタイル変革」に関する要請書

近年、労働力人口が減少していく中で、女性や高齢者が働きやすく、また、意欲と能力のある者が活躍しやすい職場環境を作ることで、労働生産性を上げて成長を持続させることが重要な課題となっております。

しかしながら、我が国においては、長時間労働により国民が豊かさを実感できていない現状にあり、長時間労働の削減など「働き方の見直し」が求められています。

茨城労働局においては、平成27年1月9日に本職を本部長とする「働き方改革推進本部」を設置し、長時間労働の削減や年次有給休暇の取得促進などの「働き方改革」の取組を進めているところです。この取組につきましては、経済界、企業の皆様にも御協力をいただいております、御礼申し上げます。

こうした中、政府において、明るい時間が長い夏の間は、朝早くから働き始め、夕方には家族などと過ごせるよう、夏の生活スタイルを変革する新たな国民運動を展開するとの方針が示されました。具体的には、夏の時期に、「朝型勤務」や「フレックスタイム制」を推進し、夕方早くに職場を出るといった生活スタイルに変えていくよう、国民運動として国全体に浸透させるものです。

つきましては、各企業においても、夏の期間に、働く人が朝早く出勤し、夕方には家族などと過ごせるよう生活スタイルを変革するために、「朝型勤務」や「フレックスタイム制」を活用するなど、それぞれの企業の実情に応じた労使の自主的な取組を可能な範囲で行うことが望まれます。

貴団体におかれましても、この取組の趣旨を御理解いただき、傘下団体・企業等に対します周知啓発に向けて御協力の程、何とぞよろしくお願い申し上げます。

茨城労働局働き方改革推進本部本部長

茨城労働局長

中屋敷 勝也



セミナー名	日 時	テーマ・内容	講 師	会 場
第2回新任管理者研修	① 6月9日(火) ② 6月15日(月) ③ 6月23日(火) ④ 6月29日(月) 13:30～17:00 全講 24,000円 単講 8,000円	①リーダーシップⅠ ②リーダーシップⅡ ③部下育成のためのマネジメントスキルⅠ ④部下育成のためのマネジメントスキルⅡ	①、② (株) ヤマオコーポレーション 代表取締役 鬼澤 慎人氏 ③、④ 社会保険労務士法人 葵経営代表 皆川雅彦氏	茨城県産業会館
マナーアップ & クレーム対応セミナー	6月25日(木) 9:30～16:30 7,000円	状況に応じたビジネスマナーを、実践しながら学ぶ ①第一印象をよくするために ②挨拶とその重要性 ③言葉遣い ④電話対応 ⑤来客対応/訪問のマナー ⑥クレーム対応等	(株) EMMY 代表取締役 渡辺満枝氏	茨城県産業会館
職場リーダーグレードアップセミナー	7月23日(木) 9:30～17:00 8,000円	部下のやる気と企業の活力を高めるノウハウ	(株) ビジネスラポール 代表取締役 鈴木丈織氏	茨城県産業会館
第2回営業社員セミナー	①8月18日(火) ②8月24日(火) 9:30～16:30 全講 14,000円 単講 8,000円	①営業の基本～成約までのポイント、アフターフォロー ②新規開拓・飛込み営業の極意～モチベーションアップの法則	浦上俊司氏	茨城県産業会館

問合せ 一般社団法人 茨城県経営者協会
 〒310-0801 水戸市桜川2丁目2番35号 茨城県産業会館11階
 TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109
 ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール info@ikk.or.jp



心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ



CROWN

“Royal” SERIES



クラウン ロイヤル

茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851
TEL 0120-090110
<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



いつだって食卓には
夢があります。
だれだって食卓には
希望をもちます。
その夢や希望を育むために
カスミはあります。

株式会社 カスミ

〒305-8510 茨城県つくば市西大橋599-1 TEL.029-850-1850

<http://www.kasumi.co.jp/>

KASUMI



カスミ公式フェイスブックページ



<http://www.facebook.com/kasumi.fanpage>

HITACHI
Inspire the Next



次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

時代はいま、新しい息吹を求めて、大きく動きはじめています。

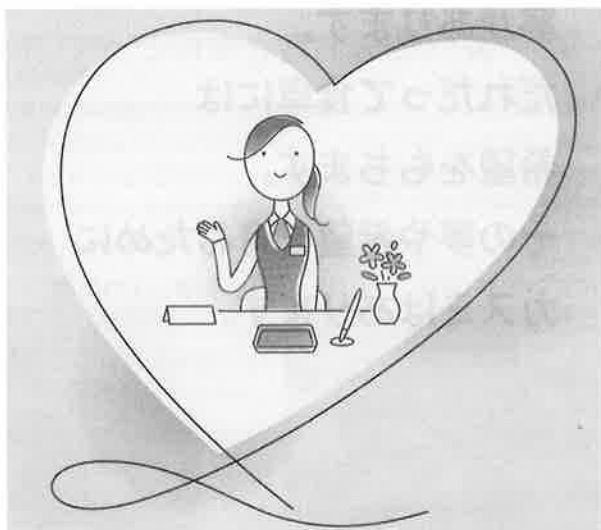
今日を生きる人々がいつも元気でいられるように、明日を生きる人々がいつもいきいきとしていられるように。

日立グループは、人に、社会に、次の時代に新しい風を吹き込み、豊かな暮らしとよりよい社会の実現をめざします。

日立の樹オンライン www.hitachinoki.net

株式会社 日立製作所 日立金属株式会社 日立化成株式会社 日立建機株式会社 日立工機株式会社
株式会社日立ハイテクノロジーズ 日立アプライアンス株式会社 日立オートモティブシステムズ株式会社

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

ベストパートナーバンク



経営労務相談(無料)のご案内

一般社団法人茨城県経営者協会

Notification

当協会では、近年の度重なる経営危機に対しまして、経営労務相談の機能を強化し、県内企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えました。

当協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な課題の解決に向けたアドバイスを致します。

Outline

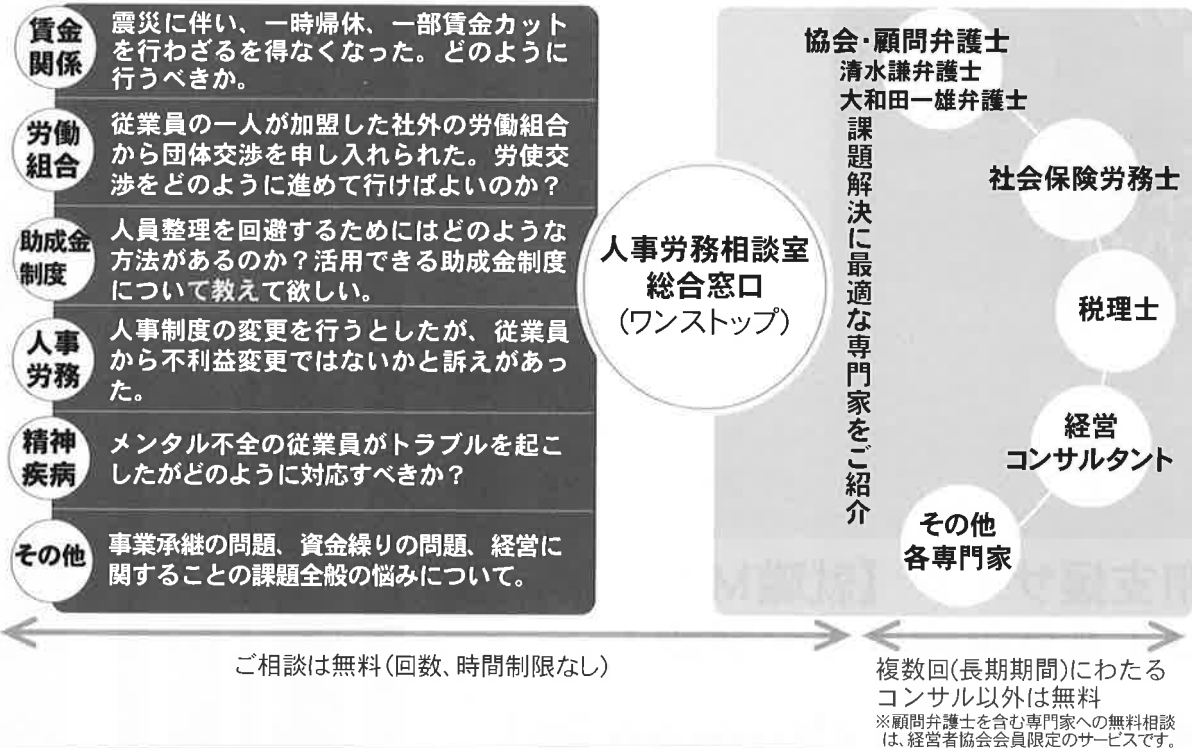
開催日 月曜日～金曜日 ① 10:00～12:00
(祝日は除く) ② 14:00～16:00

会場 経営者協会・相談室
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

申込方法 下記「申込書」に必要事項をご記入の上、TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

お問い合わせ：(一社)茨城県経営者協会 事務局(後藤、安田)
TEL：029-221-5301 FAX：029-224-1109 E-mail gotou@ikk.or.jp

Flow chart



Reservation

FAX 029-224-1109/E-mail gotou@ikk.or.jp

経営労務相談申込書(無料)

会社名 _____ 役職・氏名 _____

TELまたはE-mail _____

ご相談希望日時 () 月 () 日・お急ぎの場合はその旨をご連絡下さい。
① 10:00～12:00 ② 14:00～16:00 ※○を記して下さい。

ご相談の内容 _____
※簡単なご相談内容をご記入下さい。

就職MAP 茨城版

Job Research Map

For
新卒者
採用

For
キャリア
採用

For
パート、
アルバイト
採用

採用支援サイト【就職MAP】
2016年度向け受付開始！

<http://www.shumap.jp/>

- ①求人情報をキレイ、自由、簡単に掲載します。
- ②煩雑な操作は必要ありません。
- ③無料です。(経営者協会会員に限ります)

求人情報の掲載は、
茨城県経営者協会「就職MAP」担当（後藤）まで
TEL 029-221-5301
FAX 029-224-1109
E-mail info@ikk.or.jp